

EIWA UNIVERSE

第33号

発行日 2026年2月27日

60周年を迎えた楓祭と合同運動会で広がる学生交流の輪

ハイライト:

- 60周年を迎えた楓祭と合同運動会で広がる学生交流の輪 (1p)
- 令和7年台風15号災害ボランティア募金 (3p)
- 2026年度学納金の納入期日・寄付金のお願い (6p)
- 後援会だより (8p)

目次:

学長言	2
宗教委員会 ボランティアセンター	3
学科ニュース	4
研究室探訪 財務課	6
留学生センター 連携課	7
後援会	8

11月15日(土)・16日(日)に第60回楓祭を開催し、2日間合わせて約1,700名の来場者を迎えることができました。60周年の節目のため、開会式では永山学長にご挨拶をいただきました。学長のご挨拶では、楓祭当日が晴天に恵まれたことは、ひとえに神様のご加護であること、実行委員を中心に当日まで準備をしてきてくれたことへの感謝、そして何よりも楓祭期間中は楽しましようとお話をいただきました。



実行委員の企画では本格お化け屋敷、餃子フェア、大道芸人パフォーマンス、幼児用ふわふわと老若男女が楽しめる多くの企画を実現させ、会場を盛り上げました。また60周年記念として芸能人トークショーを2日間開催し、1日目に声優の細谷佳正さん、2日目に俳優の松本怜生さんをお呼びしました。本年も北海道から九州まで全国からお客様にお越しいただき、学生の様子を見ていただく良い機会になったと思います。松本さんはトークショー終了後、お帰りの短い時間ですが、出展していたテントにも訪れてくださいました。



楓祭終了後の12月には既に第61回楓祭実行委員会が発足し、次の企画を考え始めています。地域の方が喜んでくださるような企画を提供できるよう、また本学学生の生き生きとした姿をご覧いただけるよう、来年度も準備をすすめて参ります。

また、11月29日(土)には学友会が学生同士の交流を目的とした運動会を開催しました。昨年に



続き、2回目の開催でしたが、今年は更に交流を広げることを目標に常葉大学学友会さんと連携し、企画運営を行いました。事前には対面やオンラインで打合せを重ね、参加者同士が交流できるような競技を考えました。当日は常葉大学瀬名キャンパス体育館をお借りし、両校で約40名が集まりました。会場には笑い声や応援の音が響き、競技を通して自然と距離が縮まっていた。

学生は学友会、楓祭実行委員会ともに当日まで試行錯誤を重ね、期待と不安を繰り返しながら皆で協力して計画を実現してきました。タイパ・コスパを重視する世の中で、遠回りでも周りとの協力し、今までの経験や学内での学びを形にしていけることは学生時代ならではの活動かと思えます。今後もよりよい活動となり、学生の学びの機会となるようサポートを続けて参ります。(学生課 荒川)

め こうか とうと
わたしの目には、あなたは高価で尊い

学長 永山 ルツ子



永山 ルツ子
(ながやま るつこ)

「その時、マリアが純粋で非常に高価なナルドの香油を1リトラ
持ってきて、イエスの足に塗り、自分の髪でその足を拭いた。家は
香油の香りです。 (ヨハネによる福音書 12章3節)

皆さんは、「コスパ」や「タイパ」という言葉を聞いたことがありますか？ 「コスパ」は

コストパフォーマンスの略で、「お金に対する効果」、「タイパ」はタイムパフォーマンスの
略で、「時間に対する効果」を表す言葉です。

今、こうした効率を重視する考え方が、特に若い世代の中で広がっていると感じます。たとえば、YouTubeよりも

短いTikTokやInstagramの動画のほうが人気があるのも、「時間がかからないから」という理由が多いようです。ま

た学生は授業動画を倍速で観ていることが多いようです。さらに最近、ChatGPTやGoogleなどのAIにも「要約

機能」がありますね。「結論だけ教えてほしい」「コツだけ知りたい」という要望が多くなっていることを感じます。

でも、私たちは本当に何でも「効率」で判断していいのでしょうか？ 「ナルドの香油」という話は、とても高価

な香油を、ある女性がイエス様の足にかけたとき、弟子のユダは「もったいない」と言いました。確かに、お金や物、

時間も大切です。このユダの「もったいない」と感じる背景には、「何かの価値は効率で決まる」という考え方があ

るようにも思います。

それは、人に対しても同じです。この聖書の女性は見栄や、イエスさまの心を引くために高価なものを捧げたので

はありません。この女性は、いらぬものでもなく、余ったものでもなく、自分らしく、自分にできること、自分が

持っている最高のものを捧げたのです。

人との付き合い方や生き方は効率性で決まるものではありません。また人の考え方や価値も効率性で捉えてはいけ

ません。人と比べて強いか弱いか、優れているとか劣っているとか、価値観の違いにしても、お互いに尊重する

ことが大切だと思います。神にとっては、あなたの存在そのものが高価で尊いものです。みなさん一人ひとりの存在

が、素晴らしい存在なのです。主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン

宗教委員会

2025後期を振り返って

いつも本学のためにお祈りくださり感謝します。宗教主任の佐々木謙一です。2025年度も神様に祝福していただき、ここまで無事に過ごすことができました。

本年度は、学生企画部が発足して2年目を迎えました。4月に行われた新入生のスチューデント・リトリートでは、上級生を代表して一生懸命に頑張りました。その甲斐もあって、新入生も緊張が解けて、かなりリラックスできたように思います。そして、その新入生の中から7名の入部希望者が出たことは、とても感謝すべきことであると感じております。

また、メンバーは、1年生7人、2年生4人で構成されています。所属は人間社会学部8名と短期大学部3名です。主に、毎週水曜日の礼拝において司式や聖書朗読を担当しております。初めの頃は緊張している様子が伺えましたが、後期になってからは、落ち着いて丁寧にできるようになってきました。その他に、クリスマスカードコンテストを企画したり、礼拝後の催し物を企画したり、ワンコイン・コンサートを実施したりと大忙しです。その中でも、10月下旬に学友会と協力して、ハロウィーンの実施できたことは素晴らしいことだと思っております。

また、チャペル礼拝は、人間社会学部、短期大学部の1年生全



員で行っております。本年度は昨年から続いて、礼拝後に次週の讃美歌練習をしております。オルガンの奏楽も2人の学生に手伝っていただけるようになりました。

また、11月には138周年創立記念礼拝を行いました。永山ルツ子学長に心のこもった祝辞をしていただき、大木麻理先生をゲストにお迎えして、オルガンを演奏していただきました。このような演奏をしていただいたことにより、学生もその素晴らしさに感動していたようでした。

また、12月にはクリスマス礼拝を持つことができました。聖書朗読、讃美歌はもちろんのこと、キャンドルサービスや軽音サークルによるパフォーマンス、聖歌隊による讃美歌合唱などが行われました。1年生にとっては初めてのクリスマス礼拝ということもあり、大変新鮮に感じていたようです。

最後に、わが静岡英和学院大学は、聖書の教えを基盤とした教育を行っているキリスト教プロテスタントの大学であり、イエス・キリストが教えてくださった「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい」という言葉を胸に、学生への教育に励みたいと思っておりますので、どうかご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

(宗教主任 佐々木)

ボランティアセンターだより

令和7年台風15号災害

ボランティア活動支援金の募金について

ボランティアセンターでは、2025年9月に発生した台風15号により、牧野原市内を中心に被災した方々へ継続して支援が可能になるよう、また災害を風化させないためボランティア活動支援金の募金活動を行いました。

2025年10月30日から11月10日まで募金箱を学内5か所に設置し寄付を募るとともに、学内建物入口に立ち、声掛けを行う街頭募金を2日間開催しました。学生や教職員からいただいた募金額の総額は19,105円となりました。

また11月15日・16日の楓祭や11月29日の駿河ふれあい福祉

フェスタでは学外の方々にも募金を呼びかけました。併せて楓祭で出展した売上金額の一部を寄付し、募金額の合計は24,410円となり、直近5年間でのボランティアセンターでの募金活動の中では最高額となりました。



募金は静岡県ボランティア協会に寄付させていただきました。募金が有効的に使われ、被災された方々の多様なニーズに寄り添った活動に活かされることを願っています。

(ボランティアセンター 荒川)

人間社会学科

人間社会学科の佐々木謙一です。人間社会学科の5メジャーの報告をいたします。学科の活動は以下のとおりです。

心理メジャーでは、恒例の「心理メジャー卒業研究発表会」を12月23日（4・5時限）にて開催します。今年の4年生は、いつもに比べると比較的順調に発表準備が進んでいるように感じられます。今年度もより良い発表会となるよう期待しています。

観光地域デザインメジャーでは、観光振興・地域貢献を目指した活動に力を入れています。2025年度後期は、ウォーキングツアー「シズオカの中のオクシズ」の催行や「秋の湯さんぽウォーキングイベントin用宗」への協力等を行いました。引き続き活動を充実させてまいります。

英語メジャーではこの12月6日にTOEIC-IPテストを実施。32人の学生が受験、14名が600点を突破、そのうち8名は730点を上回る結果となりました。受験者数、得点ともにこれまでを上回る結果になりました。引き続き学生たちの育成へ励んでまいります。

日本語文化の教員は、学科の文学や言語の専門科目のみではなく、学部の「日本語」の基礎教育科目も担当しています。100名を超える授業の中で、今年度「なぜ私語をしてはいけないのか」を丁寧に説明された先生がいらっしゃいました。人として大切なことは何か。併せて学ばれることを願っています。

経済理論ゼミはベルテックス静岡の県内学生連携事業に参加しています。また会計学ゼミのサブゼミでは簿記合格者が着実に増えています。経営学ゼミではリテール・マーケティング検定3級3名合格、またB-Nest主催のビジコン最終選考に1名残りました。

人間社会学科は留学生も多く在籍し国際色豊かな学科であります。教職員一同が一丸となって静岡の地に優秀な学生を送り出すように頑張っています。また、皆様のご支援があってこそ人間社会学科ですので、これからもよろしく願いいたします。

（人間社会 佐々木）

コミュニティ福祉学科

コミュニティ福祉学科の学び人（まなびと）たち

「どんな学生さんと出会えるのだろう」と期待と不安の混ざった想いで静岡英和学院大学コミュニティ福祉学科の仲間入りをして1年半が過ぎました。今も、一人ひとりの中に見つけることのできる日々の成長や変化との出会いが続き、本学での教員生活をEnjoyしています。コミュニティ福祉学科には、福祉や保育・幼児教育に関心を持つ学生が集まります。卒業後は社会福祉士を目指したり、子どもと関わるための専門職を目指したりする学びの過程では、仲間との学び合いが大切なキーワードとなります。



担当している保育実習指導や演習系の授業を行っている時、絵本を読んだり、紙芝居を演じたりする慣れない実技課題や、エプロンシアターなどの馴染みの

ない製作課題に苦戦する学生の姿に、学生の感性の芽が伸びていくことを感じます。子どもたちのために作品を選ぶこと、声に出して表現すること、手を使い身体を使って考え創り上げていく創造的活動を通して、子どもたちの感性を育む保育者としての土台が少しずつ出来ていくようです。



また、1年生は学科選択の前ですが、後期の基礎演習Ⅱ赤羽ゼミには保育者を目指す学生が3名集まりました。仲間との学び合いには「協同」も大切です。親睦をはかりながら協同体制をつくる楽しい学びの実践を「お好み焼きパーティー」から行いました。愉快で楽しい学び人たちが、お好み焼き作りを通して協同的学びの場づくりからスタートした基礎演習Ⅱは、後半を迎えて活発な絵本論議をしたりレポート・論文の書き方を学んだりしています。（コミ福 赤羽）

現代コミュニケーション学科

2025後期「衣食住Ⅱ」の科目紹介

この科目は、現代コミュニケーション学科ライフデザインユニットに位置づけられた専門科目で、学生一人ひとりが自分らしい生活を主体的に設計するための力を養うことを目的としています。授業では、講義だけでなくグループワークや体験型の活動、実習を多く取り入れ、ライフプランニングに基づいた金融の基礎知識、食卓を彩るテーブルコーディネート、非常時を想定した防災食の工夫など、実生活に直結する内容を体系的に学びます。実際に手を動かし、考え、仲間と意見を交わしながら学ぶことで、知識が実感を持ったものとして身に付いていきます。



ライフプランニングと金融を学ぶ

暮らしを豊かにする視点の一つとして、季節の植物にも目を向け、本館入口のプランターに花を植える活動を行いました。学生たちは配色や配置を考えながら作業を進

め、春には色とりどりの花が咲き、訪れる人の心を和ませてくれることでしょう。

また冬には、過去の震災の教訓を踏まえ、いつ起こるか分からない災害に備える重要性を学びました。自宅避難を想定し、電気やガス、水道が使えない状況下での衣食住の確保について考え、実際に調理と試食を行いました。新聞紙で作った食器を使い、洗い物を出さずに食事を完結させる工夫を話し合い、実践した結果、完成したカレーライス想像以上の出来栄でした。

こうした学びを通して、日常生活を支える基礎力と柔軟な創造力を養い、自分の生活に即した知識とスキルを、楽しみながら身に付けています。



本館前プランターに花を植え育てる



防災食（ライフライン断絶時の調理体験：湯戦で炊飯&カレー、新聞紙による食器、洗い物なし

食物栄養学科

感謝と品格を育む「テーブルマナー特別研修」



浮月楼の調理長と女将の丁寧な指導

食物栄養学科では、夏季集中講義期間に「テーブルマナー特別研修」を実施しています。本講座は学科の専門教育の一環でありながら「教養を深めたい」という他学科の学生も履修できることや、実践を伴う学習を行うことが特徴であり、本学の「特色ある学び」を象徴するカリキュラムの一つとなっています。

◆「形」の先にある「心」を学ぶ3日間

研修はまず座学から始まります。マナーとは単なる形式ではなく、相手を尊重し、心地よい時間を共有するための「思いやり」であるという本質を理解します。食文化や料理の構成などの基礎知識を習得したのち、実際に会場へ足を運び、実践研修に臨みます。

実習の舞台は、静岡を代表する名店「浮月楼」と「日本平ホテル」です。五感を刺激する素晴らしい料理を堪能しながら、食材や料理、マナーについて体験的に学びます。学生たちは実践

を伴った学習を行うことで、理解が深まり、食や他者への敬意を改めて認識します。

◆社会で生きる学び、学生からの高い満足度

研修後のレポートには「相手を思いやる大切さに気づけた」、「食材への感謝が深まった」といった精神的な成長を綴る声が多く寄せられています。また「社会に出てから自信を持って活用したい」という手応えを感じる学生も多く、例年非常に満足度の高い研修となっています。

こうした体験は、学生にとって一生ものの財産となるはずで、本学は今後も、確かな知識と豊かな品格を兼ね備えた人材の育成に注力してまいります。

（食物 小川）



日本平ホテルでの西洋料理マナーの様子



意外と知らないことも多い日本料理でのマナー

研究室探訪



栗山 恵都子(くりやま えつこ)
 所属: 現代コミュニケーション学科
 職名: 教授
 専門分野: 「居住環境学」
 「室内環境評価」

私の専門は、居住環境学・室内環境評価です。学生時代の恩師は外断熱の専門家でしたが、研究テーマについては学生の興味や問題意識を何よりも尊重し、自由に研究させてくださる先生でした。そのため研究室では、学生同士が互いの実験や測定を手伝い、論文を読み合いながら議論することが日常的に行われていました。一人では得られない多様な視点や知識に触れられたこの経験は、現在の教育・研究活動の大きな基盤となっています。

私自身の研究では、室内空気中の粒子による汚染、特に人の行動によって発生するホコリ（浮遊粒子）に着目し、粒径ごとの挙動や分

布との関係を明らかにしてきました

た。新型コロナウイルス流行以降は、大学キャンパス内や市内ホテルを対象に、ATP測定による環境表面の汚れ評価にも取り組ん



でいます。さらに近年は、担当授業との関連から、短大生のライフプランニングに関する調査研究にも研究領域を広げています。



現代コミュニケーション学科では、ライフデザインユニットを担当しています。心身ともに豊かで健康に生きることは、人が生涯を通して目指す大切な価値です。衣食住や生活文化、ライフスタイル、家族、福祉といった身近な生活課題を自分事として捉え、主体的に解決できる力を身につけられるよう、学生と共に学びを深めています。

ゼミでは、ライフデザインに関心をもつ学生たちが中心となり、話し合いを重ねながら主体的に活動しています。今年度はご当地グルメである餃子の特徴を調査し、実際に試食・検討するなど、調べるだけにとどまらない実践的な取り組みを行いました。また、ボランティア活動への参加や楓祭での模擬店出店など、学外・学内での経験も大切にしています。こうした活動を通して、学生一人ひとりが他者と協働しながら自分の生き方を考え、将来につながる力を育んでいける研究室でありたいと考えています。

財務課

～令和8(2026)年度 学納金の納付書発送及び納入期限について～

	前 期 ※1	後 期 ※1
納付書発送時期	令和8(2026)年4月上旬	令和8(2026)年9月上旬
納入期限 ※2	令和8(2026)年4月27日(月)	令和8(2026)年10月2日(金)

※1 学納金は、前期と後期の2期に分けて納入いただきます。

但し、新入生(1年生・3年次編入生)の前期分は、入学手続き時に納入済みです。

※2 家庭の事情等により、期限内に学納金の納入が困難な場合は、分割・延納が可能(別途手数料あり)ですので、納入期限までに財務課(Tel:054-264-8871)にご相談ください。

寄 付 金 の お 願 い

将来を担う学生のために皆様からの温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。

学校法人HPの「インターネット経由」または、「指定振込用紙」でお申込ください。

留学生センターだより

60回記念楓祭に2日間参加しました

楓祭には、留学生センターから初日15日(土)が模擬店部門へ1ブース、2日目16日(日)に展示部門に1教室出展しました。



学生スタッフ代表の沢崎さんと内尾さんを中心に、年度当初から準備を開始し、週1回の定例会議のほか、リーダー会議を頻繁に行って計画を練り、楓祭が近づくと材料の調達や試食会、展示資料の作成などを例年にも増して多くの留学生が関わって準備を進めました。今年はインドネシアの名物、パンダンリーフという植物で緑色に着色した『クレポン』という米粉のスイーツとカナダ発祥の贅沢フライドポテト『プーティン』を手作りして提供しました。とても好評で多くのお客様が購入してくれました。

展示部門では留学生の母国を手作りパネルで紹介しました。今年はリトアニアやインドからの留学生が入学したため、本学に在籍する10か国すべての国+日本の紹介ボードを新たに作成しました。それぞれのパネルの前では民族衣装を着たその国の出身者がパネル



連携課

連携協定締結式

2025年7月28日、静岡県中小企業家同友会と、教育・学術研究・地域連携の推進に関する連携協定を締結しました。今後は、同会の組織的な支援を受けながら、経営者を講師に招いた



授業の実施や、就職活動の支援を目的とした取り組みを進めていきます。また同月31日には、ベルテックス静岡(株式会社VELTEXインタープライズ)と地域連携協定を締結しました。

の内容を詳しく解説しました。また、インドネシアのコーナーでは竹製の民族楽器『アングルン』を体験、試演してもらうなど、異文化体験を楽しんでいただきました。

清水国際高校との国際交流を2回実施しました

本年度も清水国際高校に招待され、留学生と高校生の交流会を2回実施しました。1回目は7月14日(月)に実施し、ミャンマー出身の人間社会学部1年エーチャンさん、キン ヤティ ピョーさんとインドネシア出身の同1年ジェシカ ウィギタ マジスティ タンマウサさんの3人が参加してくれました。有志の生徒を対象にした初めての取組とのことで、留学生は民族衣装をまとい、母国の紹介やゲームをして交流を深めました。2回目は9月1日(月)に毎年恒例の進学研究部との交流会を行いました。進学研究部は進学コースの生徒の部活動で学習の一環として視野を広めるために留学生を招いて交流を行っています。今年度は人間社会学科3年のグエンティ キムガンさんとフィン レ カン ニューさん(ベトナム出身)と同じく4年、SNS記者のミヤ パール ソーさん(ミャンマー出身)が参加してくれました。生徒は外国人慣れしているので、和気あいあいと、発表やゲームに興じて楽しそうに親睦を図っていました。



今年度はクリスマス会を行ったあと、年明けに茶道体験や華道体験を計画中です。

(留学生センター長 平井)

この協定では、従来の教育にスポーツを取り入れた教育振興、スポーツ教育を活用した健康づくり、そしてスポーツと教育を通じた地域貢献を目指しています。すでに本学の学生は、チームと連携した地域活性化事業「ベルカレッジ」に参加しており、他大学の学生とともに、試合運営やイベント開催時のグッズ制作などに取り組んでいます。今後も、地域連携を通じた多様な活動が期待されます。



(企画部 森)

後援会だより

2025年6月23日(月)に、2025年度静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部後援会第1回理事会が開催されました。

理事の皆様には4つの議案（2025年度後援会役員選出、静岡英和学院維持協力会役員の推薦、2024年度事業報告及び決算、2025年度事業計画及び予算）をご審議いただき、全てご承認いただきました。

後援会会則では、後援会の活動として、学生の厚生福祉及び奨学、施設設備助成、研究活動助成、地域社会への貢献促進を行うものとされており。学生生活を豊かにするため、学生や関係部署の声に耳を傾け、後援会活動へ反映させてまいります。（総務課 杉田）

2025年度 後援会役員名簿

No.	役職名	氏名	学生所属	備考
1	会長	河岸 照美	人卒	
2	副会長(理事)	川瀬 昌之	コミ福卒	
3	副会長(理事)	大畑 由香	コミ福3	
4	常任理事	松浦 好朗	コミ福卒	
5	常任理事	大石 恵子	人卒	
6	会計(理事)	新名 隆大	現退学	
	会計	倉田 怜実		事務部総務課主事補
7	監事	鈴木 佳奈子	人4	
8	監事	鈴木 敬子	人2	
9	理事	中端 晃子	コミ福4	
10	理事	舟山 浩美	人4	
11	理事	宮園 恭子	人4	
12	理事	古谷 真由美	コミ福4	
13	理事	稲葉 静恵	人3	
14	理事	松坂 克世	コミ福3	
15	理事	山田 誠	人3	
16	理事	鳥居 修	人2	
17	理事	松島 啓五	人2	
18	理事	宮下 淳	人2	
19	理事	川瀬 弘宣	人間社会学部1	新規役員
20	理事	滝 美奈子	人間社会学部1	新規役員
21	理事	松本 雄己	人間社会学部1	新規役員
	事務委員	松澤 重喜		事務部長
	事務委員	杉田 愛子		事務部総務課係長

※役職、氏名を記載し、敬称は省略しています。

2024年度 決算書

収入の部計	79,370,793	円
支出の部計	17,619,253	円
翌年度繰越額	61,751,540	円

収入の部

科目	予算額	決算額	差異	摘要
会費	21,750,000	22,800,000	△ 1,050,000	会費 年間@30,000円
利子等雑収入	350	20,710	△ 20,360	
預り金収入	0	0	0	
前年度繰越金	56,550,083	56,550,083	0	
計	78,300,433	79,370,793	△ 1,070,360	

支出の部

科目	予算額	決算額	差異	摘要
会議費	50,000	44,336	5,664	
役員会費	50,000	44,336	5,664	理事会等経費
事業費	23,510,000	17,527,696	5,982,304	
施設設備費	7,980,000	6,554,054	1,425,936	環境整備、PCリプレイス等
広報関係費	6,000,000	2,791,800	3,208,200	屋外広告(UR東静岡駅)等
会報発行費	110,000	106,040	3,960	学報英和ユニバース(年2回発行)
学生費	9,320,000	8,005,792	1,314,208	学内奨学金・卒業生へ記念品贈呈等
慶弔費	100,000	70,000	30,000	
事務費	280,000	47,221	232,779	
事務費	10,000	0	10,000	
消耗品費	50,000	4,631	45,369	
通信運搬費	50,000	12,590	37,410	郵送料・振込手数料等
印刷製本費	100,000	0	100,000	
渉外費	70,000	30,000	40,000	
未払金	0	0	0	
雑費	100,000	0	100,000	
予備費	54,360,433	0	54,360,433	
小計	78,300,433	17,619,253	60,681,180	

翌年度繰越額		61,751,540	61,751,540
計	78,300,433	79,370,793	△ 1,070,360

2025年度 収支予算書

(2025年4月1日より2026年3月31日)

1)収入の部

科目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
会費	19,800,000	21,750,000	△ 1,950,000	会費 年間@30,000円 新学生・退学者等を除いた学生数 657人入会に計算
雑収入	20,000	350	19,650	
返済金	158,500	0	158,500	令和7年7月20日から返済(60回分割払い)
前年度繰越金	61,751,540	56,550,083	5,201,457	
収入合計	81,730,040	78,300,433	3,429,607	

2)支出の部

科目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
会議費	50,000	50,000	0	
役員会費	50,000	50,000	0	理事会等経費
事業費	21,078,445	23,510,000	△ 2,431,555	
施設設備費	4,498,000	7,980,000	△ 3,482,000	環境整備、定額積立
広報関係費	6,000,000	6,000,000	0	屋外広告(東静岡駅)、進学者協会会費等
会報発行費	107,000	110,000	△ 3,000	学報「英和ユニバース」(年2回発行)
学生費	9,373,445	9,320,000	53,445	学内奨学金の増減、学内費等
貸付金	1,000,000	0	1,000,000	静岡シティビル業者への貸付(無料)
慶弔費	100,000	100,000	0	
事務費	80,000	280,000	△ 200,000	
事務費	10,000	10,000	0	
消耗品費	20,000	50,000	△ 30,000	
通信運搬費	20,000	50,000	△ 30,000	郵送料、振込手数料等
印刷製本費	0	100,000	△ 100,000	
渉外費	30,000	70,000	△ 40,000	
未払金	0	0	0	
雑費	100,000	100,000	0	
予備費(翌年度繰越額)	60,421,595	54,360,433	6,061,162	
支出合計	81,730,040	78,300,433	3,429,607	

※科目別の振用を認める。



静岡英和学院大学
SHIZUOKA EIWA GAKUIN UNIVERSITY



静岡英和学院大学短期大学部
SHIZUOKA EIWA GAKUIN UNIVERSITY JUNIOR COLLEGE

〒422-8545

静岡市駿河区池田1769

TEL 054-261-9201 FAX 054-263-4763

最新情報 <http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp>

ご意見・ご感想 info@shizuoka-eiwa.ac.jp

企画・編集 学報委員会